

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1964
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.57, No.3 (1964. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19640301-0087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

次号目次

論説

十九世紀初頭におけるアメリカ工業……………中村勝己
——テンチ・コックス『工業調査』を中心にして——
我国農業における生産函数の計測……………鳥居泰彦

資料

ウイスコンシンの一進取的農民……………岡田泰男

書評

ジャニース・ブイスヌーズ著
『コンドルセ』

——大革命のなかの哲学者——……………野地洋行

H・ペリング著

『イギリス労働組合運動史』……………飯田鼎

新刊紹介

前号目次

論説

企業の信用に対する需要……………村井俊雄
日本の法人税負担の評価(二)……………古田精司
地金論者としてのマルサス……………中西充子
——リカードオとの比較において——

研究ノート

経済統合(とくにEEC)における

計画性と分業原理……………深海博明

書評

小竹豊治訳

『株式市場の変動要因——合衆国上院

銀行・通貨委員会専門調査官報告書』……………飯田裕康

新刊紹介

編集後記

この三月号は卒業式の日卒業生の手へ渡る。今年の卒業生が入学したのは一九六〇年、安保闘争や三池大争議によって戦後史に残る年であった。入学とともに、これらの運動を通じて日本の政治や経済の問題を真剣に考えた学生も少なくなかったが、その後いわゆる「安定ムード」の中でこうした問題を忘れていった人も多いことであろう。

しかしながら、昨年一月九日、横須賀線の重大事故と時を同じくして起った三池三川坑の大災害は、三池大争議以後の問題を深刻な形で思い起させるものであった。保安を実施していれば起り得ないといわれている炭じん爆発で四五八名の命が奪われ、二八〇余名の後遺症患者がうみだされた。大争議のなかで第二組合が作り出された以後、三池労組と第二組合に対する顕著な職場差別と賃金差別、保安の無視、労働強化、災害の激増、六〇年の大量解雇以後の組夫の激増、……等。最優秀ビルト鉱として飛躍的な出炭増加を誇った三池鉱山にはこうした多くの問題が埋蔵されていたのだ。

これは三池のみの問題ではない。日本経済の繁栄のしるしのように宣伝されている高速道路建設のかげにも、その大半が請負夫である建築労働者、毎日平均七名の死亡者と約三七〇名の傷害者を出す建築労働者の問題がある。そして社会の底辺に沈黙していった多数の人々に対していかに貧困な社会保障制度しかないかということ、昨年一月東京高裁判決のあった朝日訴訟事件が端的に物語っている。

日本の政治や経済の問題は、一九六四年の今日もいぜんとして厳しく深刻である。

(井村)

昭和三十九年三月一日発行

◎三田学会雑誌 第五十七巻 第三号

定価 一二〇円(送料別)

編集兼
発行人

東京都港区芝三田二丁目二番地
慶應義塾経済学会

代表者 山本 登

電話三田(61)五一八一

振替口座番号 東京四四〇五六

印刷者

東京都港区芝三田豊岡町八番地
図書印刷株式会社

安倍 七郎

半カ年予約購読料(送料共)

七二〇円

一カ年

一四四〇円

御希望の方は左記へ購読料を添え御申込み下さい。

発行所

東京都高輪局区内三田綱町一番地

慶應

通

信

振替口座番号 東京一五五四九七